

## タイトル

リーダー所感 (デザイン・シンキングコース A1 チーム リーダー委員)

## チーム

イノベーションのための「デザイン・シンキング」体得、実践コース

## 企業名

トヨタ車体株式会社

## 名前

森島章仁

## 自己紹介

私は自動車メーカーで生産技術に携わっています。プレス工程・板金工程・塗装工程・組立工程とそれぞれの工程に専門のプロフェッショナルがいますが、私は工程をまたいで技術開発をおこなう部署でIoTを活用した開発をおこなっています。

## 所感

積極性やリーダーシップを身につけるため、デザインシンキングを学ぶのと同等の重要性を持ってリーダー委員に立候補しました。

デザインシンキングコースは参加者9名、3チームに分かれていますが多く時間をコースメンバー全員で過ごしました。

チームのリーダーとしては、チームで持ち運ぶ様々な道具の中でもっとも嵩張るプリンターを率先して持ち、研修の場でスムーズに使用できるよう事前動作確認をおこなったり、自室でメンバーの写真をプリントアウトしながらちょっとした打ち合わせをしたりしました。

自分が日本で撮影した写真とメンバーが用意してきた写真の相互作用により、自分が考えていた日本の余暇の新しい価値をより深く考えることができました。

他チームのリーダー委員との話し合いにより、研修中に提出が必要なレポートのフォロー等もおこないました。

メキシコ・エンセナダでの寄港地活動では、事前のチーム打ち合わせによりグローバル委員の活動を兼ねることになったため、リーダーとしての口出しは最小限にとどめました。グローバル委員の方の活躍により、地元の人が利用する食堂でスペイン語を使って注文して昼食をとることができました。

土産物屋ではメンバーがばらばらにならないよう目を配っていましたが、時間管理を怠り船に戻るのに遅れてしまったのは失敗でした。しかし十分に時間をかけた観察でチームメンバーのラピッドプロト

タイピングが一段と良くなったのも事実です。

パーティー委員の方はせっかくのディナーの時間をフェアウェルパーティーの打ち合わせや準備に費やしていただき、おかげでたいへん賑やかなパーティーを楽しむことができました。

本コースの最終課題は、デザインシンキングにより作り出した新しい価値を織り込んだ製品のラピッドプロトタイピングを、近未来のライフスタイルショップの商品としてプレゼンテーションするというものでした。事務局からは店の看板として使う厚紙やメンバーでデザインして着用するチームユニフォーム用のTシャツが用意されました。

ここで私はお客様のことを考え、事務局からの事前準備の中にはなかった、商品名を記したラベルを置くことを思いついてメンバーにも使っていただきました。これは他のチームにはない大きな特徴です。

また、3人がそれぞれ独創的な商品を開発している中で、共通するテーマをショップの名前とするよう提案しました。「ありのまま」「Let it go」から最終的に「Let it be」という店名に決まったのですが、ラピッドプロトタイピングでは事務局が用意してくださった道具やエンセナダで購入した品だけでなく船内にあるものは何でも使って良いとのことから、ビートルズの「Let it be」を流すにあたり石黒講師が使っていたスピーカーまで使わせていただくというメンバーの発想には驚かされました。

1チーム3名、コース全体でも9名という小さな所帯においてチームリーダーとしての業務はあまり多くはありませんでしたが、だからこそ細かい気配りができたのではないかと考えています。

## タイトル

リーダー所感 (デザイン・シンキングコース リーダー委員長)

## チーム

イノベーションのための「デザイン・シンキング」体得、実践コース

## 企業名

トヨタ車体株式会社

## 名前

森島章仁

## 自己紹介

私は自動車メーカーで生産技術に携わっています。プレス工程・板金工程・塗装工程・組立工程とそれぞれの工程に専門のプロフェッショナルがいますが、私は工程をまたいで技術開発をおこなう部署でIoTを活用した開発をおこなっています。

## 所感

積極性やリーダーシップを身につけるため、デザインシンキングを学ぶのと同等の重要性を持ってリーダー委員に立候補しました。

デザインシンキングコースは参加者9名、皆さん社会人として、会社の代表として自律的に活動されており引率者としての苦労はありませんでした。とはいえ、空港や乗船下船時の集合確認は緊張感を持っておこないませんでした。

石黒講師の研修はたいへん興味深く、自分の考えを深く突き詰めカタチにしていくのに熱中してしまい、リーダーとしては集合確認など最小限のことのみとなってしまいました。

店を模したプレゼンテーションの場で商品名を記したラベルを置くのはお客様（プレゼンを聞く人）のことを考えた良いアイデアだと思ったのですが、自分のチームだけでなくコース全体で共有すればよかったと反省しました。

この反省を受け、企業訪問ではコース全体を盛り上げることに留意しました。「GUIって知ってますか」「RPAって分かりますか」といった企業様から我々への問いかけは、個人が名指しされているわけではないので知っている人でも発言しづらく話が進まなくなってしまうことも少なくありません。そこでチームを代表して私が回答し、穏やかな雰囲気の中で説明を続けていただくことができました。

ベンチャーキャピタルの WiL 様にてさまざまな企業の成功例を説明していただいた後に「御社に投資しているパートナー企業の中に御社を活用できていない企業はあるか」といった変化球的な質問をし

ましたが、一エンジニアとして自分の業務に繋がる内容ではなく、メンバー全員に関わる、経営者目線での質問をしたつもりです。

一方で、研修を離れたところでは、サンフランシスコ滞在経験のある仲間や DiSC スタイルで能動的と分類される「D：主導」「i：感化」タイプの仲間のおかげで、大いに楽しむことができました。

移動のバスが故障し Uber で手配したクルマに乗ったことや皆でシェアサイクルで移動したことはモビリティに関わるものとして研修と同じくらいに貴重な出来事でした。もっとも、運動不足の身に坂だらけのサンフランシスコをサイクリングするのはたいへんきつく、仲間たちに迷惑をかけてしまいました。

総じて、リーダー委員長の経験によって、より多くの失敗と多くの成功を体験し、この上なく有意義な海外研修となることができました。

今後はデザインシンキングの知識だけでなく、今回の研修で得たさまざまな経験を業務に活かしていきます。

## J - EXCEED (イノベーションのためのデザインシンキングコース)

デザインシンキングコース リーダー委員会副委員長、A3チームリーダー委員 所感

日本通運株式会社 石居 勉

### □自己紹介

デザインシンキングコースでは唯一、技術職ではない営業職からの参加となりました。会社の業務内容としては、総合営業をしており、新規獲得から現場の営業支援まで特定の顧客を持たない営業活動をしています。今は、10月11日豊洲市場開場に向けて、築地市場内の事務局に入り、移転準備を行っています。

### □所感

- ・リーダー（コース副委員長、A3チームリーダー委員）としての心掛け

デザインシンキングコースは総勢9名の少人数構成でした。皆、中堅以上～管理職で、自身で判断し行動できるメンバーであったのと、それぞれの使命、それぞれの思いで参加しており、それらを尊重することを心掛けました。気を使ったところは、集合場所、時間、ホテルの帰着確認だけでした。

- ・苦労したこと

信頼できるメンバーであったため、特にありませんでした。

- ・良かったこと

総勢9名、チーム3名毎と少人数であったため、意識せずに全員またはチーム毎に行動で

きたこと。特にサンフランシスコの夜、9名全員で自転車をレンタル（Ford Gobike）し、ホテルからフィッシャーマンズワーフへ向かい、夕食をとったこと。また、図らずも、移動のバスが故障し、Uber に分乗し目的地に向かったことは、現地を肌で感じ、それを9名で共有できたとても貴重な経験でした。



※Ford Gobike（左上） サンフランシスコ公共のバイクシェアリングシステム。



※Uber（右上）で、シリコンバレー企業訪問先へ移動。

#### ・研修後のチーム目標

船内で行ったデザインシンキング研修、企業訪問で見聞きしたデザインシンキングの実践事例。それら学んだことを如何に会社で活かせるのか、活かすにはどのように行動をするのか、コースメンバー、またはチーム内でまずは問題を共有する。